

浅井町 ふれあいたより



第123号

重点施策 「安全で安心なまちづくりと子どもたちの健全育成」

発行日 令和5年3月1日

発行者 浅井町地域づくり協議会 一宮市浅井町前野字郷西 85 (浅井町出張所内)

ホームページ 138azai.org(検索「浅井町地域づくり」または上記 QR コードから検索)

退任あいさつ

連区長 足立 守 副連区長 柴山 守男・澤田 孝一郎

この一年間、私たち3名は様々な行事に町会長会代表として参加してきました。これまでお互いに面識がなかったのですが、常に3名で協力し、話し合い、絆が深まった気がします。

町会長会ではフリートークの時間が回を追うごとに充実し、皆様の地域でのご苦労とご努力を垣間見ることができました。特に今年度は、民生委員の3年に一度の改選にあたり、たくさんの方のご協力で役目を果たすことができました。

地域づくり協議会では、縁の下の力持ちとなる計画・準備・実践・振返りがいかに大切かを初めて体感した気がします。長い間浅井町に暮らしていましたが、こうしたご努力が長年続いていたことを改めて知ることができました。諸先輩からの適切なアドバイスを受けながら、無事任期を終えることができ、感謝の念に堪えません。

これからも微力ながら地域の一員として協力していきたいと思いをします。



退任あいさつ

長寿会 会長 野田 幸次



こんにちは。浅井町長寿会の野田幸次でございます。

令和4年度長寿会の会長を拝命し、会員皆様方の福祉の増進と親睦を深めたいとの志を持って、微力ではございますがこの1年間臨んでまいりました。今年も「新型コロナウイルス」による感染拡大により一部の事業は計画どまりで開催中止となりましたが、ある程度の事業は実施できましたことは喜ばしく思っています。

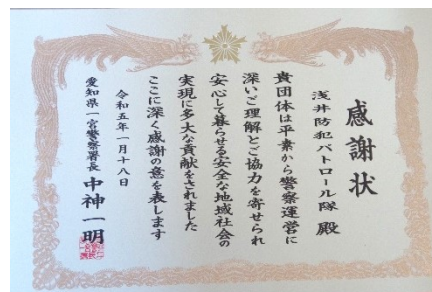
そんな中、各クラブの会長さん・女性部長さんそして本部役員の皆様方から、手間暇惜しまぬご協力を賜り、長寿会をお支えいただいたことに、心より感謝申し上げます。

一日も早く、コロナウイルスとの戦いに終止符が打たれ、安全・安心な日常生活が戻ってまいりますことをご祈念申し上げまして、退任の挨拶とさせていただきます。

浅井防犯パトロール隊に感謝状

1月18日(水)に木曽川文化会館で一宮警察署感謝状贈呈式が行われ、日頃より防犯・交通安全等に協力している市内93団体、個人34人に感謝状が贈呈されました。

浅井防犯パトロール隊も日頃の防犯活動に対し、感謝状を頂きました。



【多様な人々との協働に向けて】

一宮市立浅井中小学校 校長 高木 千豊

日本経済はこれまで、大量生産・大量消費を基盤に成り立ってきました。学校では、教えられたことを、より迅速により正確に行える子を育成して、社会に送り出してきました。大量生産・大量消費の経済は、売れ残るなどの廃棄や二酸化炭素の排出により、環境への負荷が指摘され、SDGs（Sustainable Development Goals）を基準に、循環型社会形成に向け世界が足並みを揃えようとしています。SDGs 全体に通じる「誰一人取り残さない」という理念や、「パートナーシップで目標を実現しよう」という17の目標からわかるように、SDGs の考えのベースは多様性の尊重と言えます。世界的にも大量生産・大量消費の時代は終わり、消費の多様化・多面化の時代となってきました。

新しい学習指導要領においても、目指す姿や育成すべき資質・能力についての基本的な考え方として、「他者に対して自分の考え等を根拠とともに明確に説明しながら、対話や議論を通じて多様な相手の考えを理解したり自分の考え方を広げたりし、多様な人々と協働していくことができる人間であること」とされています。

11月にわが校でN-1グランプリ（教育漫才）を開催しました。この行事のねらいは、「人と人とのコミュニケーション力を高め、人間関係を温かく豊かなものにし、表現力を高める」「情報収集力や構成力、プレゼンテーション力をつけ、子どもたちの主体的な学習への態度の育成につなげる」「傾聴することの大切さを実感し、共感力を育てる」です。2年目を迎え、ネタの内容やジェスチャー、声の抑揚など、子どもたちの表現する力が少しずつ上達してきました。

当日は、オレンジの田中哲也さんに来校していただき、全発表をご覧いただくことができました。田中さんによるプロとしてのネタやジェスチャーへのコメントは、子どもたちにとって大きな自信につながりました。

学校教育目標の柱の一つとなるコミュニケーション力、プレゼンテーション力を高めることが、これからの国際化社会、多様化社会において重要とされる能力となります。しかし、教育界ではまだまだ、コミュニケーション力育成のカリキュラム化が未成熟です。だからこそ、教育漫才における「コンビ・トリオを決定→コンビ名を決定→ネタづくり→演技→見せ合い→修正の繰り返し」の過程こそ、取り組んでいく価値があるものなのです。

今後も多様な人々と協働できる人間をめざして「共感力」を伸ばし続け、論理的思考力・表現力としての「話す力」「書く力」を育てていきたいと思っています。今後も、地域や保護者の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いします。

浅井中小学校ウェブサイトでは、日々の子どもの様子を配信しています。携帯電話やスマートフォンでも見ることができますので、ぜひご覧ください。

URL : <http://www.school.city.ichinomiya.aichi.jp/~azaina-e/>



3月の行事予定

1日(水)	地域づくり協議会会計監査	2日(木)	町会長会(新年度)
3日(金)	町会長会(4年度最終)	7日(火)	地域づくり協議会役員会
7日(火)	中学校卒業式	15日(水)	資源回収日
20日(月)	小学校卒業式	28日(火)	町会長会②

親子紙ひこうきづくり教室

令和5年1月21日(土)午前9時30分より浅井公民館大会議室で「令和4年度青少年スクール 親子紙ひこうきづくり教室」が開催され、3組9名の親子が参加しました。公民館家庭学習部の主催ではさみ、セロテープ、ノリなどを使っての手作り紙ひこうきです。森連区公民館長の挨拶のあと、いよいよ作業開始です。いろんな型紙から自分の好きなものを選んで、はさみで切り、テープ、のりなどで作ります。小さなお子さんは、お父さん、お母さんが手伝い、約30分程度で出来上がりました。試験飛行を繰り返し、羽根の向き、重心の位置などを補正して完成です。

最後に全員で飛ばしあい、面白い、すごい等の歓声があがり、手作りの楽しさを満喫しました。川原副連区公民館長から「お店で買ってもらうおもちゃもありますが、こういった手作りのおもちゃの楽しさも味わってほしい。これからも公民館行事にどんどん参加して下さい」とのまとめで終了です。子ども達はお土産のお菓子も頂いて、自分が作成したひこうきを手に、満面の笑みで帰途につきました。



親子で仲良く共同作業



飛んだ時の子ども達はいかにも嬉しそう

手をつなぐ子らの教育展

令和5年1月26日(木)から30日(月)までスポーツ文化センター2階展示室で「第61回一宮手をつなぐ子らの教育展」が開催されました。一宮市教育委員会と「手をつなぐ親の会」の主催で五日間、午前10時から午後4時まで、特別支援学級の児童・生徒の作品が展示されました。今回のテーマは「できたよ かけたよ たのしいよ」の通り、創造性に溢れた

作品の数々が、観覧に訪れた人々を和ませていました。

この教育展は毎年この時期に開催され、一人ひとりの子ども達の成長の跡が身近に感じられます。子ども達が普段の生活の中で感じたことを、個性豊かに表現した作品ばかりです。

皆様も是非、こうした機会に特別支援教育への理解を深めて頂きたいと思います。



新一年生に防犯ブザー贈呈

浅井町交通安全会は、毎年、小学校の新1年生に防犯ブザーを贈っています。今年も1月27日(金)に足立連区長と柴山・澤田副連区長が浅井3小学校を訪問し、各小学校に防犯ブザーを贈呈しました。新たに入學される1年生の皆さんが、万が一のお守りとしてブザーをもって4月から元気に小学校に通う姿を見守りたいと思います。



浅井南小伊藤校長へ



浅井中小高木校長へ



浅井北小太田校長へ



令和4年度「浅井町もの忘れ川柳」コンテスト 受賞結果発表（順不同）

【最優秀賞】

浅井町地域づくり協議会賞

高機能 使いこなせぬ 後期脳

（尾 関 いちみんなのお友だち様）

一宮タイムス賞

ユーモアは 病を忘れる 薬かな

（西浅井 南澤 力男様）

【特別賞】

忘れても 笑顔が絆を つないでる

（尾 関 ハルさん様）

気がつけば 診察券が 束になり

（大日比野 内藤 良子様）

あれそれで 気持ち伝わる 爺と婆

（尾 関 栗本 きり様）

【佳作】

スーパーが 3つもあるよ 浅井町

（前 野 梁瀬 靖子様）

車の前 家の鍵もち 乗れねーわ

（尾 関 近藤 幸郎様）

色ちがい くつ下もだが 服前後

（前 野 鬼ばば様）

ひらめいた！ ナイスアイデア なんだっけ？

（木曽川町 宮崎 誠治様）

ルンバとは 踊りのことかと 爺が言い

（尾 関 神行 太保様）

やな事も 全て忘れて 日々笑顔

（千秋町 おちょやん様）

お茶わんを いくつも並べて コレクター

（小日比野 カコルデア様）

優しいね あなたの名前は？ 息子だよ

（大日比野 こまぼん様）

帰れない 送ってもらえた あんしん浅井

（大日比野 イマカタル様）

「どちら様」 子に問う母を 抱き締める

（大 野 長村 宣道様）

もの忘れ おもい出したゾ 大丈夫

（河 端 内田 信得様）

もの忘れ 失敗談も 忘れたい

（今伊勢町 平岩 麻理子様）

いわれたら はいとこたえる かんたんに

（萩原町 野田 昭雄様）

どこまでも 続く介護に 休み無く

（尾 関 小沢 郁代様）

すれちがう どちらともなく 振り返る

（大日比野 坂井 純子様）

ばあちゃんは いつも我が家の 知恵袋

（名古屋市 位田 仁美様）

忘れもの 取りにきたのに また忘れ

（大日比野 ラッキー様）

オレオレと 言われて気づく 我が子なし

（尾 関 栗本 和徳様）

おしゃべりで いつでも脳が 活性化

（大日比野 成瀬 みどり様）

認知症 どうとう来ました 我が家にも

（尾 関 堀部 美枝子様）

歳重ね 交流深まる この町で

（尾 関 野田 順子様）

言葉です あれがああして ああなった

（小日比野 宇野 智子様）

カギカギと さがし続けて 戸が開かぬ

（尾 関 尾木 隆子様）

高齢者 言われてハット 我れ気付き

（河 田 赤堀 幸子様）

幼なき日 思い出の地 浅井町

（尾 関 ヨシクン様）

認知症 薬はずばり 地域活動

（江南市 ノン様）

たくさんのご応募ありがとうございました。